

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	地域の福祉課題の解決に向けたバーチャルリアリティ技術の活用			
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	関西学院大学		
	活動 グループ名	井村誠孝研究室	参加学生 等人数	22 人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	工学部 知能・機械工学課程		
	責任者氏名	井村 誠孝	連絡先 電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	尼崎医療介護スキルアップ交流会		
	代表者氏名	中川 陽介	連絡先 電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動 目標	当研究室の中心的な研究テーマであるバーチャルリアリティ(VR)技術について、市民活動団体との協働により、地域の福祉課題の解決に向けた活用方法を検討し、実社会への実装を行う。			
活動内容及び 実績、評価	<p>第 53 回尼崎市民まつりにおいて、当研究室で開発された認知症の記憶障害を自分ごととして体験する VR システムの展示を行った(写真)。当日は多数の一般の方々にご来場いただき、認知症患者の視点を自分ごととして考えるきっかけを提供することができた。展示の実施にあたっては、当研究室所属学生が協力し、体験者への説明等を通じて、学生が自身の専門技術の社会的意義を実感する機会となった。</p>			
	 <p>尼崎医療介護スキルアップ交流会のご協力のもと、当研究室の学生が開発中の(1)半側空間無視を体験する VR システム(2)言語を活用したコグニサイズによる認知機能トレーニングシステムについて、介護・福祉に従事する皆様にご体験いただき、実践的な視点からの有益なアドバイスをいただいた。加えて VR をはじめとする IT 技術の活用について、幅広い意見交換を行った。</p> <p>予定していた活動のうち、VR システムの体験会や意見交換については予定通り実施し、有意義な活動を行えた。一方で、VR 技術の活用可能性を様々な視点で考えるワークショップについては実施するに至らず、より綿密な計画を事前に行う必要があったことが反省点である。</p>			

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします